

(特非) 国際青年環境 NGO

A SEED JAPAN

2015 年度年次報告書



■長期目標

自然環境と人間が持続可能な形で共存・共生することが可能で、エネルギー・食料・住宅など、私たちの生活に必要なものが持続可能かつ安全な形で供給され、あらゆる人々の人権が尊重される、フェアで公正な社会づくりに貢献する金融のしくみを実現します。

■2015 年度の活動

目標 1 — 「Fair Finance Guide」の推進

Fair Finance Guide Japan の運営団体(A SEED JAPAN、アジア太平洋資料センター、「環境・持続社会」研究センター)で協働しながら、Fair Finance Guide Japan のウェブサイト (<http://fairfinance.jp/>) の認知を高め、サイトへのアクセス数の目標(年間 85,000 兼)と銀行へのメッセージ数の目標(年間 1,000 件)を達成します。

結果 — 達成度 70%

- ・ウェブサイトへのアクセス数は約 20,000 件、メッセージ数は約 200 件にとどまりましたが、各種メディアへの掲載(合計約 20 件)、日経ソーシャルイニシアチブ大賞のファイナリスト選出等を通じて知名度及び信頼度を高めたとと言えます。
- ・Facebook ページへの「いいね!」数は 4000 件を超え、投稿によっては 200 件以上のリアクションをいただくなど、関心層への効果的に波及できていると考えられます。
- ・月 1 回ペースでより参加者との距離を近くした少人数スクール形式でのミニセミナー、フェア・ファイナンス・スクールの開催、大学・高校(國學院大學、駒沢大学、明治学院大学、神奈川総合高校等)や地方(京都、福岡)での講演により、多様なセクターの方々にフェア・ファイナンス・ガイドの意義やインパクトについてご理解いただくことができました。
- ・11 月にパリで開かれた気候変動に関する国際会議に向けたアクションであるアースパレードへの参加等を通じて、気候ネットワーク、350.org Japan などの他団体とのネットワークを強化することができました。

目標 2 — 日本のメガバンクのスコア改善

Fair Finance Guide Japan における各種キャンペーンを実行しながら、銀行との対話を深め、Fair Finance Guide における日本の銀行のスコアが改善されることを目指します。

結果 — 達成度 90%

- ・国際NGOバンクトラックが実施した「パリへの誓い」キャンペーンへの協力、2015 年11月6日の1周年記念セミナー開催等を通じて社会からの関心を高めるとともに、銀行との対話を続け、具体的に以下の成果を得ました。
- ・りそなグループが2015年8月に発行したCSR報告書において、「投融資先の企業活動が人権に与えるマイナスの影響に関心を持ち、法規範等に抵触する場合には、都度必要な対策を講ずる」という方針を表明しました。これにより、りそなグループの「人権」に関するスコアが100点満点中0点から35点に向上しました。また、スコアには直接影響しませんでした。環境についても「環境に重大な負の影響を及ぼす可能性のある開発プロジェクト等には融資しない方針」を表明しました。
- ・三井住友トラストホールディングスが2015年12月末に発行したCSRレポートにおいて、2016年に赤道原則(プロジェクトファイナンスにおける環境・社会配慮基準)に署名することを表明しました。これにより、三井住友トラストはメガバンク3行を抜いて国内トップのスコアとなりました。

銀行の社会性を、まるっと格付け

FairFinanceGuide
Japan

<http://fairfinance.jp>



➤ 写真右上

Fair Finance Guide Japan 1周年記念国際セミナーの様子。

➤ 写真左下

アースパレードでは、気候変動の要因となる二酸化炭素を削減するため、化石燃料への投融資をやめよう、アピールした。

➤ 写真右下

グローバルフェスタはじめ様々な野外イベントへ出展。



■年間活動実績

- 4月 アースデイ東京 2015 に出展
- 5月 社会的インパクト投資シンポジウムに出展
- 10月 グローバルフェスタ 2015 に出展
- 10月 オルタナの記事に取り上げられる
- 11月 朝日新聞、日経エコマムの記事に取り上げられる
- 11月 アースパレード 2015 に参加
- 12月 Fair Finance Guide Japan 1 周年記念国際セミナーを開催
- 12月 エコプロダクツ 2014 に出展
- 12月 朝日新聞の記事に取り上げられる

チームリーダー（土谷和之）より一言——

フェア・ファイナンス・ガイドについての普及啓発活動を進め、当初期待していた以上のメディア露出、SNS を通じた波及を達成できたと考えています。また、大学や高校での講演を通じて、若い世代からも関心を寄せていただくことができました。さらに、環境市民、気候ネットワーク、350.org Japan 等の他団体との協働により、フェア・ファイナンス・ガイドや石炭産業からのダイベストメント（＝投資回避）等について、より効果的な普及啓発を進められていると感じています。このような活動の結果、りそな銀行、三井住友トラスト等が具体的な投融資方針改善を開始しています。



■長期目標

環境やコミュニティ・人々を傷つける鉱物採掘をストップさせ、エシカルな資源利用が行われる社会を目指します。

■2015 年度の活動

目標1－企業における採掘時の社会・環境配慮の根本的な取り組みの促し

金属を使用する製品製造に関わる企業における、調達を通じた採掘時の社会・環境配慮への取り組みの調査および意見交換を実施し、より根本的な取組みを促します。

結果－達成度 70%

調査は紛争鉱物規制の国際動向調査に止まりましたが、アムネスティ・インターナショナルの報告書も踏まえた企業向けセミナー、フェアフォン招聘に併せた企業向け意見交換会を実施しました。

目標2－採掘問題の認知を広める

エシカルケータイキャンペーンの実行委員会メンバーとしてエシカルケータイキャンペーンを推進し、採掘の問題の認知を広めます。

結果－達成度 90%

- ・2015年度の14回の実行委員会会合中13回の会合運営を行い、実行委員会推進に貢献しました。
- ・オランダ発の「フェアフォン」について、実行委員会メンバーのつながりから招聘を実現し、エシカルケータイキャンペーンとの企画協力によって市民向けシンポジウム(参加 50 名、うちメディア 3 名)、分解イベント(参加 22 名)、企業向け意見交換会を行い、メディアにも取り上げられました。

目標3－NGO のネットワークを強化し、効果的な発信を行う

エシカルケータイキャンペーンを通じて NGO のネットワークを強化し、効果的な発信を行います。

結果－達成度 90%

- ・ナマケモノ倶楽部が活動するエクアドルの鉱山開発に関し、アムネスティ・インターナショナルが行う緊急行動の拡散に協力しました。
- ・アムネスティ・インターナショナル発行の紛争鉱物の企業の取組状況を分析した英文報告書について、エシカルケータイキャンペーンで和訳を行い、本報告書も踏まえた紛争鉱物動向セミナーを開催しました。
- ・アムネスティ・インターナショナルのビルマの銅鉱山開発レポート、FoEオランダ・FoEインドネシアのインドネシアにおけるスズ採掘レポート(FoE Japan和訳)をウェブサイトに掲載しました。
- ・賛同団体にFair Finance Guide Japanが加わり、ウェブサイト調査報告書を掲載しました。
- ・ナマケモノ倶楽部、アジア太平洋資料センター(PARC)が行う鉱山開発・採掘関連のイベント広報に協力しました。



➤ 写真

フェアフォンを招聘したシンポジウムの様子。今後日本でも使用可能となるよう、NGO 同士のネットワーク強化と企業へのヒアリングを行った。

■年間活動実績

- 6月 アムネスティ・インターナショナルのエクアドルの鉱山開発に反対するフニン村のリーダーへの圧力に対する緊急行動の拡散に協力
- 6月 エシカルな鉱物・金属調達に関する公開質問状 2014 の結果を公開
- 7月 ウェブサイトにバンカ・プリトゥン州（インドネシア）におけるスズ採掘問題、ビルマ（ミャンマー）モンユワ銅山開発事業を追加
- 9月 紛争鉱物動向セミナー ドッド・フランク法施行から2年、企業の対応は？EUの法制化は？ーを開催
- 10月 賛同団体に Fair Finance Guide Japan が加わる
- 10月 ウェブサイトに「Fair Finance Guide 第1回、第2回ケース調査報告書」を追加
- 12月 「シンポジウム：エシカルケータイのつくり方 - オランダ発フェアフォンの事例をもとに-」、「フェアフォン徹底解剖」、「フェアフォン意見交換会（企業の方対象）」を開催
- 1月 新聞赤旗に記事を掲載

チームリーダー（加治知恵）より一言――

A SEED JAPAN としての独自の活動はありませんでしたが、エシカルケータイキャンペーンの NGO ネットワークを生かし、各団体の報告書・イベントの紹介やエシカルケータイキャンペーンウェブサイトへの掲載を行いました。12 月にはフェアフォンの初来日となるシンポジウム、分解イベント、企業との意見交換会を開催し、メディアにも取り上げられました。フェアフォンとはエシカルケータイキャンペーンとして引き続き情報交換や協力を行っていく予定です。

A SEED JAPAN は 2015 年度いっばいでエシカルケータイキャンペーンの実行委員会からは降り、エシカルメタルプロジェクトは解散となりますが、エシカルケータイキャンペーンは続いていきますので引き続きご注目ください。

（ロゴはエシカルケータイキャンペーンのものです。

<http://www.ethical-keitai.net/>）



■長期目標

- 1) 日本の青年と力を合わせて、世界の課題先進国・原子力災害被災国である日本の地域社会を、「生命を大事にする責任ある地域自給社会」へと転換します。
- 2) 東京の青年とグリーンな企業とNGOが力を合わせて、有機農業をはじめとする環境保安型農業、地域に根差した再生可能エネルギー、有機的な人のつながりから生まれる健康で安心な地域づくりの実施を進め、東京における「生命を大事にする」責任ある自給社会づくり」を一般化します。
- 3) 上記の提言と実施を通して、国際社会が「持続可能地域目標(Sustainable Community Goals)」を定め、過剰な農薬・化学肥料・紛争鉱物・原子力発電・遺伝子組み換え等のリスク規制を強化する仕組みを創造します。

■2015年度の活動

目標1ー提言ネットワークの構築

青森、福島、およびその他の地域への現場ツアー等を通し、地域の青年と交流し、持続可能な地域の在り方についての提言ネットワークを構築します。

結果ー達成度 60%

- ・シンポジウム「What's Next?」の開催等を通して、政策提言型NGO30団体、福島県内の復興団体30団体、福島県有機農業者、首都圏の復興支援団体とのネットワークを構築しました。
- ・11/23～11/24で福島現場ツアーを実施しました。小高の仮設住宅、二本松市東和地区の仮設焼却炉、福島県内のNPOに所属するASJ卒業生を訪ねました。結果、福島県内外の放射性廃棄物問題への問題意識を掘り下げることにつながり、2016年度に実施するアクションにつながりました。
- ・6/11開催の「復興の集いー結イレブンvol.18」では、みんなのデータサイト事務局長/石丸偉丈氏、土壌スクリーニング・プロジェクト/平井有太氏、アースデイマーケット事務局長/富山普氏をゲストに迎え、放射能と食の問題について福島と東京でどのように克服しようとしているのか、実際の活動から語っていただきました。
- ・2/22開催の「ほんとの幸を考える！今だからこそ交流会2（福島県有機農業ネットワークと共催）」では、関係者を入れて50名ほどが参加し、「生命を大事にする責任ある地域自給社会」の構築に向けて、ネットワークを継続・拡大しました。
- ・「結イレブン」で有機農家の野菜を試食・販売や現地ツアーの紹介をすることを通して、のべ約70名の方に、東京で有機野菜の定期購入や現場体験を促しました。

目標2ーコンビニエンスストア提言アクションの始動

「東京における生命を大事にする地域自給社会」の仕組みを構築することを目指します。その第一歩として「コンビニエンスストア提言アクション」を始動します。

結果ー達成度 10%

- ・新宿NPO協働推進センターまつりの分科会で、コンビニとCSRのテーマを担当しました。
- ・東京におけるアクションは、コンビニエンスストアへの働きかけを行うために11月まで勉強会やミーティングを重ねてきましたが、実施体制が作れなかったため、見直すこととなりました。



➤ 写真上、右

10/11開催の「復興の集いー結イレブンvol.22（福島県有機農業ネットワークと共催）」では、たなつもの屋／廣田拓也氏、CSOネットワーク／黒田かをり氏、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／佐々木未央氏、ふんばろう福島プロジェクト／矢内寿氏をゲストに招き、「農業・避難・子供・支援」の現状と課題を語っていただきました。



■年間活動実績

- 4/12 シンポジウム「What's Next?」を開催
- 4/18-4/19 アースデイ東京 2015 出展
- 5/25 新宿 NPO 協働推進センターまつりに出展
- 6/11 結イレブン共催（テーマ：「福島・未来を切り拓く」。ゲスト：みんなのデータサイト事務局長の石丸偉丈氏、土壌スクリーニング・プロジェクト平井有太氏）
- 8/8 チーム内でコンビニに関する勉強会実施
- 10/11 結イレブン共催（テーマ：ほんとの幸を考える！今だからこそ大交流会）
- 11/23-11/24 福島現場ツアーを実施
- 2/22 「ほんとの幸を考える！今だからこそ交流会2」を福島県有機農業ネットワーク等と共催
- 3/22 「再エネ×パリ協定 なじよすっぺふくしまシンポジウム～ふくしま発・再生可能エネルギーで描く持続可能な未来～」を気候ネットワーク等と共催



➤ 写真上

「3/22 再エネ×パリ協定 なじよすっぺふくしまシンポジウム」を気候ネット等と共催しました。関係者を入れて参加 40 名。エネルギー問題に関して提言 NGO、福島県内の再エネ団体と福島県の再エネ 100% 自給、脱原発・脱化石について問題意識を共有できました。

チームリーダー（鈴木亮）より一言――

2015 年度は「生命を大事にする責任ある地域自給社会への転換」を目的に掲げる未来生活 now プロジェクトの 5 か年計画の最終年でした。東日本大震災の発災以降、福島県の有機農業者と共に原子力災害からの復興に向き合い、都市と地域の連帯を促進する活動を続けた結果として、様々な団体とネットワークを築くに至りました。そして、新チームとして核燃料サイクルや放射能のゴミにもフォーカスした、青森・福島と連帯する活動へとシフトする決定に至りました。

本プロジェクトは 2015 年度で解散しますが、有志で 2014 年 1 月から継続している復興の集い「結イレブン」を新チームに引継ぎます。「結イレブン」を公式の活動として継続・拡大し、2020 年のオリンピック・パラリンピックの機会も視野に、「生命を大事にする責任ある地域自給社会への転換」を実現する手法や、都市と地域における有機農業、再生可能エネルギーの推進、放射能の問題、といったテーマについても引き続き扱う予定です。



■長期目標

化石燃料由来のエネルギー等の利用について改めて見直し、再生可能なエネルギーを誰でも選択し、利用できる持続可能な社会を目指します。そして、市民として、身近な市区町村単位での小規模な地域コミュニティの自治に関わるきっかけが見えやすい、参加型社会を創っていきます。

■2015 年度の活動

目標 1 ー 事務所で使用する電力の自然エネルギーへの切り替え

2016 年の小売市場の自由化にあたって A SEED JAPAN 事務所で使用する電力を自然エネルギーへ切り替えます。

結果 ー 達成度 15%

- ・2016 年 4 月から小売電力自由化が始まり、50kw 以下の規模の契約も電力を選べるようになりました。しかし、2015 年 9 月より事務所が入居しているクリエイティブ One 秋葉原ビルは、ビル一棟全体で一つの電力会社と契約しているため、フロアごとに電力会社を選ぶということが不可能だとわかりました。それを踏まえてビルと交渉していくかについては未定ですが、本目標については今後も手段を検討していきます。
(※SEED PLAN2015 作成時は ASJ が事務所移転前であったため、電力会社を選ぶことが可能でした)

目標 2 ー 東京での自然エネルギーの普及を話しあう場づくり

首都圏において自然エネルギー生産者である市民発電所の取り組みをしている団体や企業、専門家を交えて、東京におけるこれからの自然エネルギー普及について話し合う場を2回実施します。

結果 ー 達成度 30%

- ・パワーシフトキャンペーン実行委員会や、アースパレード実行委員会に参加し、FoE Japan をはじめ他団体の専門家との情報交換や意見交換の機会を持つことができました。
- ・11 月には、ASJ25 周年記念連続セミナー「Roots to Seeds」で横須賀市議会議員の小林伸行さんをお呼びした際、地域における再生可能エネルギー導入状況や課題について尋ねるきっかけを得る事が出来ました。また、2 月の合宿では、次年度の自治体調査を視野に入れて、小林伸行さんを訪ねて、横須賀における電力供給の状況や横須賀での小中高の電力の切り替えのためにどのような行動施策を行ったのかについてお話を伺う機会を持ちました。
- ・ブース出展に注力したため、上記以外の主催セミナー・勉強会は開催しませんでした。

目標 3 ー 東京での自然エネルギーの普及を話しあう場づくり

日本各地で生まれている地域分散型のエネルギー自給の取り組みや電力を選べるようになる電力自由化について市民に伝え、地域においてエネルギーの自給に取り組んだり2016年に電力を選択する市民を100人増やします。

結果 ー 達成度 75%

小売電力自由化の前年ということで、A SEED JAPAN として賛同団体となっているパワーシフトキャンペーンと共同で、2015 年 4 月のアースデイ東京 2015、9 月の中津川 The Solar Budokan 2015、2016 年 3 月の Peace On Earth においてブース出展を行いました。自然エネルギーを重視する電力会社を応援する市民の声を可視化するパワーシフト宣言を集めると共に、自治体の再エネ導入状況や電力自由化に関する普及啓発を行いました。パワーシフト宣言は、アースデイ東京 2015 で 72 宣言、中津川 The Solar Budokan 2015 で 43 宣言、Peace On Earth で 20 宣言と、全体では 135 宣言を集めることができました。パワーシフトキャンペーンとしては、3,600 人超の宣言(2016 年 3 月 31 日現在)が集まっています。



➤ 写真左
「中津川 THE SOLAR BUDOKAN(※)」での出展の様子。

※自然がとても豊かな岐阜県中津川市にて、「太陽光発電によるクリーンでピースなロックフェスティバル」と称して毎年 9 月に開催されています。ここで唯一の NGO 出展を行いました。



➤ 写真左下
アースデイ東京 2015 の様子。パワーシフトキャンペーンと協力して多くの来場者に電力自由化についてわかりやすく説明をしました。

■年間活動実績

- 4月 アースデイ東京 2015 にパワーシフトキャンペーンとの共同出展
- 9月 中津川 THE SOLAR BUDOKAN にパワーシフトキャンペーンとの共同出展
- 2月 戦略会議@横須賀市(エネルギーとまちづくりプロジェクト合宿)
- 3月 『市民のブース出展術』を開催
- 3月 Peace on Earth にパワーシフトキャンペーンとの共同出展

チームリーダー（浜田恒太郎）より一言——

2016 年 4 月の小売電力自由化の前のタイミングだったため、昨年度から賛同団体として参画しているパワーシフトキャンペーンとの共同出展を 3 回実施しました。ブース出展の中でも今年初出展をした「中津川 The Solar Budokan」は、ミュージシャンである佐藤タイジさんの声掛けによって 4 年前に始まった音楽フェスティバルで、太陽光ですべての電力を賄っている、通称“太陽光フェス”です。

今年度は、メンバーのブース出展等の経験値もあがってきたことを実感しつつ、パワーシフトキャンペーンの呼びかけに注力するということを 1 つ軸として活動をしました。

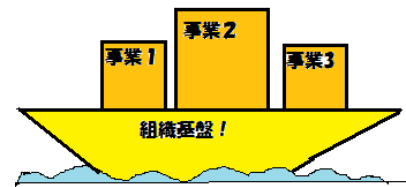
来年度に向けては、メンバーが就活や留学、進学、社会人となるなどさまざまな生活環境の変化がある中で、今後の方向性やチームの体制について再検討、再構築しながらも、新たな計画に沿って活動していきます。



組織基盤強化プロジェクト - “なる” プロジェクト

1. “なる”プロジェクトとは？

いくら立派な荷積み（＝事業）があっても、それを支え運ぶための船（＝組織）がもろいと船ごと沈んでしまいます。当団体でも人材育成や資金調達など、活動を行う上で必要な組織の基盤をつくる必要があります。A SEED JAPAN では 2014 年 1 月から、パナソニック NPO サポートファンドの助成を受け、組織基盤強化に 2 年間取り組んできました。



2. 実施概要

【1 年目の実施事項と成果】ビジョン・ミッションを再確認した上で、中期目標・戦略を設定

＜中期目標＞

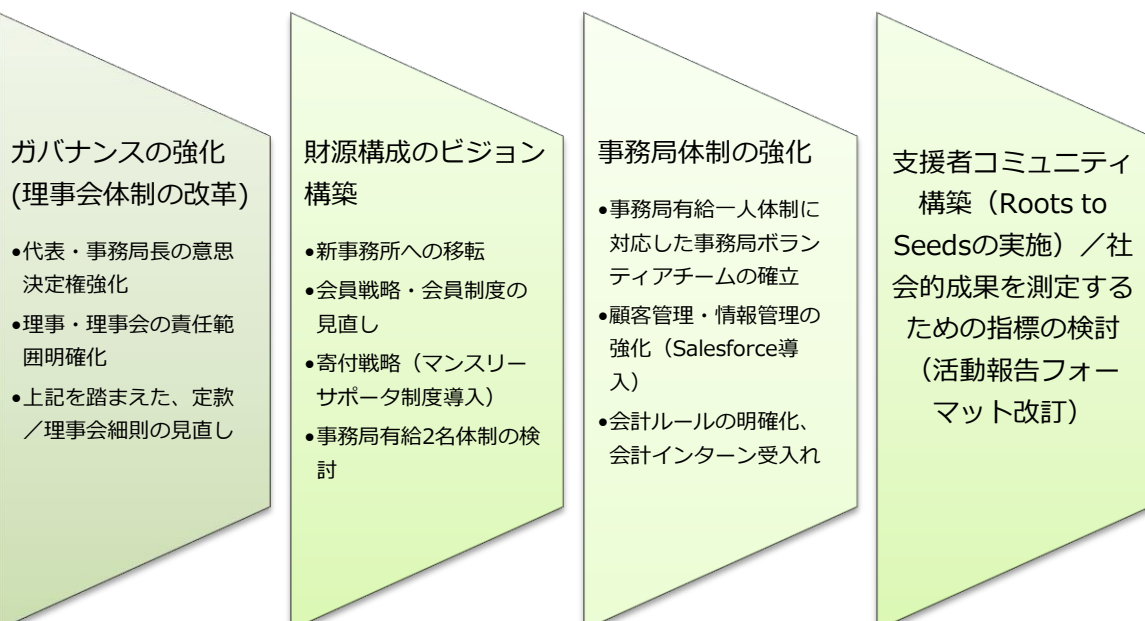
- ① 現代及び将来世代にわたって環境破壊や人権侵害を引き起こさない経済・金融システムを主流化させるために、企業の経営行動や政策を変える。そのために意思決定者に影響を与える。
- ② 自然エネルギーや有機農業などの普及を通して、持続可能で公平な生産・消費を市民が選択できるようにする。そのために世論を形成する。
- ③ 上記を若者が主導することで、社会を変革する人材を各セクター及び地域に輩出する。

＜そのための今後 3 年間の戦略＞

- ① 社会変革型プロジェクトの強化-Fair Finance Guide を ASJ 全体で進めるプロジェクトに。
- ② 分野を超えた NGO・企業とのネットワーク形成・強化
- ③ 人材育成・輩出の仕組みの構築-OG・OB 会の設立
- ④ 「新しい経済のカタチ」の議論継続・理論化-現場の NPO・NGO との議論を経て、都市と地域の連帯・東京の責任について考え発信する。

【2 年目の実施事項と成果】活動・財政構造の中期ビジョンを構築

2015 年度決算では、1200 万円の収入の内、助成金事業が全体の 7 割を占めています。安定した財源を増やすため、会員の維持と寄付収入を増やす方向性を合意しました。提言活動に必要な「多くの支持者の存在」を証明する事にもなるため、団体のミッションに一番合致すると考えたためです。そのために、現段階ではまず基幹プロジェクトの成果の最大化と寄付者・会員増の戦略策定に注力することを理事会で確認しました。また、それを支える理事会体制・事務局体制も見直しました。



受託事業（アースデイ東京事務局）

●ASJは以下3つの理由から、2014年度、2015年度のアースデイ東京事務局を受託し、宮腰がASJ事務局とアースデイ東京事務局長を兼務しました。

●業務

任意団体アースデイ東京運営、単年度の実行委員会事務局の運営、イベント制作業務全般

●成果

- ・ASJが事務局を担うことで、アースデイ東京の樺(たすき)をつなぐ事が出来ました。
- ・2015の3テーマ(エネルギー・食・経済)について、事前勉強会や当日ステージで存在感を発揮しました。



加盟・賛同団体および賛同案件一覧

＜加盟・賛同団体＞

団体・ネットワーク名	関係
気候ネットワーク	会員
アースデイ東京 2015/2016 実行委員会	実行委員
パワーシフトキャンペーン	賛同団体
グリーン連合	会員
消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク	幹事（西島）
動く→動かす	フレンズ会員
新宿 NPO 協働推進センター	事業運営委員（2015 年度を持ち退任）
認定 NPO 法人振興会	会員
エシカルケータイキャンペーン実行委員会	実行委員 （2015 年度を持ち退任、2016 年度から賛同団体）
Japan Youth Platform for Sustainability(JYPS)	協力団体

＜A SEED JAPAN が賛同・署名した案件一覧＞

ASJ 理事会 議決の日付	議決 内容	タイトル	主要な呼びかけ団体、賛同団体
2015/4/26	賛同	辺野古新基地建設に反対する NGO 緊急共同 声明「いのちの海とサンゴ礁を守れ」	FoE Japan、日本自然保護協会、他
2015/7/15	賛同	安倍晋三首相とナレンドラ・モディ首相への国際 共同アピール「インドの使用済み核燃料再処理を 可能とする日印原子力協定を締結するな」	原子力資料情報室、原水爆禁止日本国民会議、 ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、他
2015/7/18	賛同	STOP! ブラック融資「銀行のみなさん、パリ に向けて脱石炭の誓いを！」	Fair Finance Gide Japan、JACSES、PARC、350.org Japan、FoE Japan、気候ネットワーク
2015/7/18	賛同	NGO 非戦ネットへの賛同	日本国際ボランティアセンター(JVC)、国際協 力 NGO センター (JANIC) 他
2015/9/20	賛同	インドネシア・中ジャワ州バタン石炭火力発電事業 日本 の公的融資供与の拒否を求める緊急要請書	FoE Japan、インドネシア民主化支援ネットワーク (NINDJA)、JACSES、気候ネットワーク
2015/12/19	団体 署名	『子どもミツバチ保護法』を求める署名	グリーンピース
2016/1/23	賛同	シリア紛争停止のための提言書	シリアの和平実現のために活動するネットワ ーク、JIM-NET、ワールドビジョンジャパン、他

<メディア掲載>

掲載日	内容
2015/4/8	世界 2015 年 5 月号 『銀行の社会性はどうなっているのか?』
2015/4/8	関西国際交流団体協議会編 『NPO・NGO のキャパシティ ディベロップメント』 第 5 節「『社会変革ツール』としての CSR の可能性」
2015/6/24	日本経済新聞 朝刊 28・29 面 日経ソーシャルイニシアチブ大賞特集
2015/7/3	オルタナ S 『預けたお金が人権侵害や不法伐採に——銀行の社会性を格付け』
2015/8/15	サスナビ! 『あなたのお金がお金殺しのために使われていたら?』
2015/10/6	Quick ESG 『Fair Finance Guide Japan、大手金融機関 7 社の最新の社会性格付を公表』
2015/10/28	オルタナ 『変わり始めた日本の金融機関——投融資方針の社会性改善に向けて』
2015/11/6	朝日新聞 『日本の銀行 6 グループ、化石燃料に 15 兆円投融資』
2015/11/10	オルタナ 『銀行の社会性を格付け「フェア・ファイナンス日本版」が 1 周年シンポ』
2015/11/10	Quick ESG 『大手 25 銀行による化石燃料への投融資は再生可能エネルギーの 10 倍』
2015/11/11	日経エコム 『CSR (企業の社会的責任) の視点から銀行を選ぶ～「フェア・ファイナンス・ガイド」1 周年』
2015/12/1	女性自身 コラム: サトウさん家の「オフグリッドで暮らす知恵」『第 44 灯 おカネの預け先で社会と未来は変えられる! 金融口座選びは投票と一緒に』
2015/12/7	朝日新聞 (夕刊) 『レッツ eco 活』 銀行の投資方針 点数で評価

<行政で取り上げられた事例>

開催日	内容
2015/5/20	消費者庁倫理的消費調査研究会第 1 回資料 3 「倫理的消費とは」
2015/8/25	消費者庁倫理的消費調査研究会第 3 回資料 4-3 「Fair Finance Guide Japan」

<寄稿>

掲載日	掲載誌	内容
2015/7/22	オルタナ(Web)	金融も「脱石炭」へ——日本のメガバンクにも大きな期待
2015/10/28	オルタナ(Web)	変わり始めた日本の金融機関——投融資方針の社会性改善に向けて

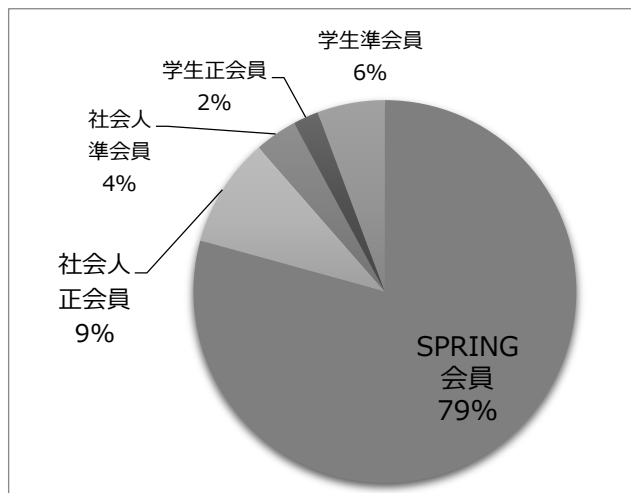
<登壇>

登壇日	内容	詳細
2015/7/11	講師派遣	國學院大學
2015/7/17	講師派遣	立教大学
2015/7/21	講師派遣	港区エコプラザ「みなと CSR アイデアソン」
2015/7/24	講師派遣	Impact Hub Tokyo
2015/8/26	講師派遣	さわかみ投信社内勉強会
2015/11/20	講師派遣	駒澤大学
2015/12/10	講師派遣	明治学院大学
2015/12/19	講師派遣	フェアファイナンス・スクール in もやいバンク福岡
2016/1/30	コーディネート	中央労働金庫社内研修
2016/2/6	講師派遣	新宿 NPO 協働推進センターシンポジウム
2016/2/9	講師派遣	横浜国立大学
2016/2/21	講師派遣	環境就職進路相談会 (カウンセラーとして相談に応じました)
2016/3/11	講師派遣	東京ボランティア・市民活動センター 民間助成団体部会学習会
2016/3/17	講師派遣	神奈川総合高校

2015 年度会員内訳

会員総数（2016 年 3 月末現在）：140 名

会員種別	人数(名)
SPRING 会員	111
社会人正会員	13
社会人準会員	5
学生正会員	3
学生準会員	8
合計	140



2015 年度役員一覧

理事

氏名	所属	担当
小野塚彩	会社員	組織基盤強化・人材育成担当
加治知恵	団体職員	エシカルメタルプロジェクト
土谷和之	会社員	共同代表 エコ貯金プロジェクト/Fair Finance Guide Japan
永井亮	横浜市立大学	共同代表 組織基盤強化・人材育成担当
西島香織	ASJ 事務局	事務局長
浜田恒太郎	会社員	エネルギーとまちづくりプロジェクト
宮腰義仁	ASJ 事務局	アースデイ東京事業部長
谷戸蘭	会社員	未来生活 now プロジェクト

監事

田辺有輝	NPO 法人「環境・持続社会」研究センター
小林邦彦	大学教員

2015年度会計報告

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金	22,580,539	未払金	434,498
未収入金	906,200	預り金	242,730
商品	6,824	負債の部合計	677,228
前払費用	0	正味財産の部	
【固定資産】		【指定正味財産】	
(1)有形固定資産		前期繰越指定正味財産	1,500,000
工具器具備品	180,388	当期指定正味財産増減額	121,836
(2)投資その他の資産		【一般正味財産】	
敷金	336,000	前期繰越一般正味財産	21,124,786
		当期一般正味財産増減額	586,101
資産の部合計	24,009,951	正味財産合計	23,332,723
		負債及び正味財産合計	24,009,951

活動計算書

経常収益		経常費用	
科目	金額	科目	金額
受取会費	744,500	【事業費】	
受取寄附金	1,125,495	人件費	3,914,805
受取助成金		その他事業費	6,175,206
地球環境基金	4,000,000	事業費計	10,090,011
Panasonic NPOサポートファンド	1,500,000	【管理費】	
スウェーデン国際開発協力庁(Sida)	1,465,353	人件費	484,539
TIDS財団(パタゴニア日本支社)	226,930	その他経費	2,092,083
LUSH	378,164	管理費計	2,576,622
事業収益	3,332,512	経常費用計	12,666,633
その他収益	479,780	当期繰越一般正味財産増減額	586,101
		前期繰越一般正味財産額	21,124,786
		次期繰越一般正味財産額	21,710,887
		指定正味財産増減の部	
		受取助成金	7,692,283
		一般正味財産への振替額	-7,570,447
		当期指定正味財産増減額	121,836
		前期繰越指定正味財産額	1,500,000
		次期繰越指定正味財産額	1,621,836
経常収益計	13,252,734	次期繰越正味財産額	23,332,723

全体収支としては、586,101円の黒字となりました。2015年度の事業収入は、大部分がアースデイ東京事務局の受託によるものですが、本年度でアースデイ東京事務局受託事業は終了となります。次年度から本格的にマンスリーサポーター

監事監査報告書

監査の結果、2015年4月1日より2016年3月31日現在の第2期事業年度における貸借対照表及び、活動計算書、財産目録、事業別損益計算書、活動報告は、同時点の特定非営利活動法人A SEED JAPANの財産及び収支並びに理事の業務執行の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

2016年5月29日

特定非営利活動法人 A SEED JAPAN

監事 田邊有輝

監事 小林邦彦

A SEED JAPAN にご参加下さい！

1. 活動に参加する

プロジェクトのメンバーとして、月 1~2 回のミーティングに参加し、企画・広報・イベント運営・ロビーイングなどを行います！大学サークルや単発のボランティアでは得られないスキルが身に付きます。自ら企画を提案することももちろん OK。

※事務局業務をお手伝いいただける方も募集中。将来 NPO で働きたい方向けです。

2. イベントに参加する

ASJ では、様々な環境問題・人権問題を扱ったセミナーを開催したり、野外出展をしています。会員の方は会員価格でご参加いただけます（最大無料）

継続的には参加できないけれどこの 1 か月だけは／この 1 日だけはかかわりたい！という方は運営ボランティアとしてご参加いただくことも可能です！

3. 情報をシェアする

会員用メーリングリストでは、ASJ からのイベント知らせや他の NGO のイベント情報も配信しています。さらに、ご自身に関わるイベントの告知も、会員にシェアすることができます。様々な NPO スタッフ、社会起業家のプラットフォームをぜひご活用ください。

A SEED JAPAN の活動をご支援ください

【個人の皆さまへ】社会的なタイミングに応じた柔軟で迅速なアクションを続け社会にインパクトを与えるには、みなさまのご寄付が必要です。

月々500 円から始められる「マンスリーサポーター」にぜひご登録下さい。

単発のご寄付もお受付しております。くわしくは Web サイトをご覧ください。

【法人の皆さまへ】A SEED JAPAN は持続可能な社会をつくるために、志ある法人の皆様とのパートナーシップを目指しています。

お振込先：中央労働金庫新宿支店 普通口座 1436580

口座名：特定非営利活動法人 A SEED JAPAN

フリガナ：トクヒ ア シード ジャパン

発 行：(特非) 国際青年環境 NGO A SEED JAPAN

発行日：2016 年 9 月 10 日

編集責任者：西島香織

〒110-0005 東京都台東区上野 5-3-4 クリエイティブ one 秋葉原ビル 7 階

E-mail：info@aseed.org

TEL：03-5826-8737

FAX：03-3834-1025

URL：http://www.aseed.org/

